

製品名: B-ATF ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07470**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用**希釈倍率** IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:5000-1:10000**分子量****抗原情報**

遺伝子名	BATF
別名	BATF; Basic leucine zipper transcriptional factor ATF-like; B-cell-activating transcription factor; B-ATF; SF-HT-activated gene 2 protein; SFA-2
遺伝子 ID	10538.0
SwissProt ID	Q16520
免疫原	抗血清はヒト BATF 由来の合成ペプチドに対して作製された。AA 範囲: 10-59

背景

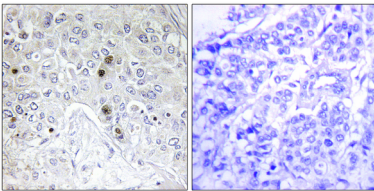
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、核塩基性ロイシンジッパータンパク質であり、転写因子 AP-1/ATF スーパーファミ

リーに属する。このタンパク質のロイシンジッパーは、Junファミリーのタンパク質メンバーとの二量体形成を媒介する。このタンパク質は、AP-1/ATF 転写イベントの負の調節因子であると考えられている。[RefSeq 提供、2008年7月]、機能: Junタンパク質に結合し、AP-1を介した転写の負の調節因子として機能する。Jun/B-ATFヘテロダイマーは、12-O-テトラデカノイルホルポール-13-アセテート応答配列 (TRE) (コンセンサス配列: 5'-TGA[CG]TCA-3') でDNAに優先的に結合し、cAMP 応答領域 (CRE) (コンセンサス配列: 5'-GTGACGT[AC][AG]-3') ではより弱く結合するが、転写的には不活性である。、PTM: リン酸化されている。、類似性: bZIPファミリーに属する。、類似性: 1つのbZIPドメインを含む。、サブユニット: JUN、JUNB、JUNDとヘテロダイマーを形成する。また、IFI35とも相互作用する。、組織特異性: 肺で最も高く発現し、胎盤、肝臓、腎臓、脾臓、末梢血ではより低く発現する。SW480大腸癌細胞株およびRaji Burkittリンパ腫を含む複数の造血腫瘍細胞株で検出されています。成熟Bリンパ球およびTリンパ球で強く発現しています。PubMed:10777209によると、リンパ節および虫垂でも中等度の発現が認められ、胸腺および骨髄でも低レベルの発現が認められています。

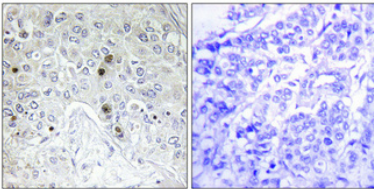
研究分野

-

画像データ



BATF抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



パラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学染色。抗体は1:100 (4°C、一晩) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。